

町連だより

平成 28 年 12 月 2 日 苫小牧市町内会連合会 発行

平成 28 年度 道南ブロック町内会活動研究大会報告

平成 28 年度道南ブロック町内会活動研究大会が、10 月 12 日(水)～13 日(木)の 2 日間、函館市にて開催され、各町内会から 24 名が参加しました。

1 日目、札幌大谷大学准教授、西浦功氏の「住民主体の地域づくり、地域の絆と支えあい」の講演が行われ、その後 3 分科会に分かれ、福祉、防災、環境衛生について講師から実例を挙げての講演や参加の各地域との討論を行った。

2 日目は、前日の各分科会の発表が行われた。函館市を始め各地域の参加者と町内会活動の現状や事例等の意見交換や交流をし、大変実りある研修大会であった。



平成 28 年度 先進地視察研修事業を実施

～岩手県陸前高田市他被災地を視察～



(陸前高田市にて現地ガイドの説明を受ける)

平成 28 年度の先進地視察研修事業として、10 月 18 日(火)～19 日(水)の 2 日間、各町内会の役員 23 名が参加し、岩手県陸前高田市他、東日本大震災の被災地を視察した。

1 日目、宮城県石巻市で現地ガイド、南三陸町では語り部から震災当時から現在に至るまでの道のりについて話をうかがった。

2 日目は、南三陸町役場防災庁舎跡を見学。

その後岩手県陸前高田市へ移動。現地ガイド同行にて、旧道の駅高田松原→奇跡の一本松→旧

市街地を回った。4 年前に同事業として視察に行った際にあった瓦礫は片付けられ、土地底上げの工事が各地域で行われていた。復旧作業が進行しており、4 年前とはだいぶ違う風景であった。

バス車中にてガイドさんから伺った、東日本大震災四周年追悼式でのスピーチが大変印象的でしたので、ほんの一部を抜粋して掲載します。

3 月 11 日中学校の卒業式でした。突然の大きな揺れ、何分経っても止まらない長い揺れでした。その後「ゴォー」という地鳴りのような音が聞こえ、これは津波だと思った矢先、家族 5 人大きな波に飲まれました。しばらくの間流され、私は瓦礫の山に埋もれ止まりました。力を振り絞り、瓦礫をかき分け出ていくと、自分の足下に、くぎが刺さり足は折れ、変わり果てた母の姿。右足が挟まって抜けず、私一人ではどうにもなりません。ここにいたら死んでしまう。助けるか、逃げるか。私は自分の命を選びました。「行かないで」という母に、「ありがとう、大好きだよ」と何度も伝えその場を離れました。

辛くて辛くて死のうと思った日も、家族を思って泣いた日も、数えきれないほどありました…。この先、誰かの役に立ち、失ったものと同じくらいのもをこの人生を通じて得ていきたいと思っています。

(宮城県遺族代表 菅原彩加さんのスピーチより抜粋)

町内会青少年担当者研修会

『子どもだけの問題じゃない!!-家庭も地域も明るく-』
～元氣アップ!ココロのサプリメント～

11月22日(火)午後2時から市民文化センターにおいて、健康こども部青少年課との共催により「青少年担当者研修会」を開催し、各町内会より23名が参加しました。



講師に、笑華尊塾代表の塩谷隆治氏をお招きして、“元氣アップ!ココロのサプリメント”として、脳に与える言葉の大切さや、イライラしない生き方についての講演を聞き、グループワークも行った。

グループトークをすることで、大変和やかな雰囲気の中での研修となり、他の町内会の参加者とも交流でき、有意義な時間であったと参加した方々からも、大変好評であった。

住民組織活動の推進に関する要望書の提出 及び市長との懇談会

11月24日(木)午後3時から市役所第二応接室にて、市長との懇談会が開催された。

町連からは、理事、幹事13名、市側からは、市長ほか関係部長が出席。この席上、「住民組織活動の推進に関する要望書」を市長に提出した。

要望書の概要は次のとおり。



住民組織活動の推進に関する要望書 (概要)

1. 地域課題への対応力強化に向けた職員、組織体制の検討

防災、福祉、環境、都市建設、教育等行政の各分野に対応できる職員、組織体制の在り方や強化についてお願いしたい。

2. 情報環境の整備についての検討

町内会の積極的な情報発信が不足しているのが、町内会活動の課題の一つ。環境整備にあたり、初期費用の助成と維持管理費の上積み等の検討をお願いしたい。

3. 自主防災組織活動に対する助成金の増額見直しについて

自主防災組織連合会が組織され、活動も充実していくと思われる。活動の推進に向け、これまでの助成金の在り方を含め、増額などについて検討をお願いしたい。

4. 緑跨線橋の架替工事について

工事着手に向け実施設計に入ると報道があったが、工事は長期間に及ぶものと思われ、安全確保など不安を感じる。早期完成とともに、市民に対する丁寧な説明等について関係機関に働きかけをお願いしたい。